

# 市議会 だより

発行 / 由利本荘市議会  
編集 / 議会報編集特別委員会  
〒015-8501 秋田県由利本荘市尾崎17番地  
電話 / 0184-24-6386 FAX / 0184-27-1793  
Eメール gikai@city.yurihonjo.akita.jp



## 笑顔満開!!

### 平成21年 第4回定例会(12月)

新年度予算、消防行政、学校の耐震化など.....	5 議員が一般質問	2 P
審査報告の概要の公表.....	政治倫理審査会	5 P
ケーブルテレビの加入促進を図る.....	常任委員会報告	6 P
『明るい未来への架け橋』.....	市民の声	10 P

# 市政に対する

# 一般質問

一般質問は12月10日行われ、5名の議員が市政全般にわたる諸問題を取り上げ、当局の所信や見解をただしました。

各議員の主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

内容は、12月現在のものです。

## 活性化地域枠

### 各々1千万円確保

会派 市民クラブ

齋藤 作 員議員



**質問** 地域活性化を推進強化するには、新年度予算に各地域に大枠1千万円の計上はどうか。

**答弁** 平成22年度予算で、地域づくり推進事業」として各地域300万円、緊急性の高い修繕費等700万円、計1千万円の予算枠を確保、地域の権限による執行予算とし、活力のある地域づくりを進めてまいりたい。

**質問** 本市は全県一の広大な面積、森林農耕地計86%、市民が自信と誇りを持って生きられる地域形成を構想する

「田園立市」を宣言するべきと考える。「食料・農業・農村市基本条例」制定を進め、その中に理念として組み込むべきでは。

**答弁** 農業集落が大宗を占める本市、農林業の振興無くして発展は無い。現在「食料・農業・農村基本条例」制定に向け計画を進めている。基本理念として、田園立市宣言は条例の意図するところであり整合性を図り検討する。

**質問** 県統合家畜市場設置に伴う本市由利牛生産目標をどう計画しているか。

**答弁** 肥育頭数は平成17年度604頭、20年度1206頭、4年間で倍増、市場設置に伴

い、23年度まで1800頭の上場計画している。今後は肥育経営の拡大を目指し、肥育牛舎設置支援等、計画達成の推進を行ってまいりたい。

**質問** 地球温暖化に対する行政対応として、情報管理一元化を図る、「エゴ対策推進室」的な機能は絶対に設置すべきでは。

**答弁** 官民一体となった取り組みを推進するため、総括的担当部門の設置が必要、早期に検討してまいりたい。



## 新年度予算編成と 合併の検証

会派 フォーラム輝  
本間 明 議員



**質問** 新年度予算は、市長にとって自前の予算編成となるが、基本的な考え方について伺う。

**答弁** 平成20年度決算では、合併後初めて実質単年度収支が黒字となり、「身の丈にあった財政運営」ができた。しかし、財政指標から依然として厳しい状況に変わりはない。地方交付税や国・県支出金への依存率が高い本市にとって、事業仕分けにおいて見直し対象となった地方交付税や税制改正の動向、各省庁の事業規模が未だ、不透明なことから、22年度予算編成は手探り状態にある。基本的には国が目指す歳出の徹底的な見直しと歩調を合わせ、人件費、単独事

## 議会の動き

10月

7日\*議会報編集特別委員会

15日\*議会議員政治倫理審査会

21日\*福岡県八女市議会行政

視察来市

22日\*広島県東広島市議会行政

政視察来市

29日\*議会運営等打合せ(第

1回)

11月

2日、6日、10日\*会派代表

者による議会運営等打

合せ(第2~5回)

10日\*大分県杵築市議会行政

視察来市

11日\*静岡県吉田町議会行政

視察来市

13日\*第3回臨時会

17日\*北海道小樽市議会行政

視察来市

20日\*会派代表者会議

\*議会報編集特別委員会

\*秋田県市議会議員研修会

24日\*建設常任委員会協議会

業費の見直しを進めつつ、財政計画、総合発展計画に沿った事業を展開してまいりたい。

**質問** 市長就任から8カ月、合併の検証について伺う。

**答弁** 行政情報の公開や説明責任を果たすことの重要性を再認識している。「財政計画」及び「総合発展計画」の見直しや変更を行ったことや、市民への説明が必ずしも十分でなかったことが、大型事業や合併特例債事業が中心部に集中し、地域間バランスが崩れ格差が拡大しているという市民の不満の声となった一因でもあったと思う。市民と行政がそれぞれ知恵を絞りあい、市全体の一体感の醸成を目指していくことが重要と考える。市民の声に耳を傾け、地域の状況を十分に把握しながら、「市民が納得して日常生活を送れる由利本荘市」を構築する。

### 消防行政の 広域化について

会派 グループ創風  
作佐部 直議員



**質問** 本市の「広域消防運営計画」の策定方法と、その進捗状況について伺います。

**答弁** 今後、にかほ市との協議会の設立が予定されており、策定に当たっては、国の基本方針に基づき、にかほ市と本市の行政事情や地理事情、住民ニーズに配慮されるよう、現実的かつ将来的な観点から慎重に進めていきたい。

**質問** 広域化のメリットについてどう検証できるのか、もし具体的な数値があったら、お知らせいただきたい。

**答弁** 今後の協議では、現場業務、人事管理、財政面など、数値化できるものは数値により検証し、よりよい広域消防



の体制づくりを目指したい。

**質問** 消防救急無線のデジタル化のスケジュールを伺う。

**答弁** 移行期限の平成28年5月末に合わせ、平成24年度に基本設計、25年度に実施設計、26年度には本工事に着手し、27年度で完成、28年度当初からの運用を目指す。

**質問** デジタル化整備費用の負担とその財源について伺う。

**答弁** 総額は11億1021万円余りで、財源内容としては国庫支出金8千万円、合併特例債1億6150万円、地方債7億5860万円、一般財源から1億1011万円を見込んでいます。



本荘消防署通信司令室

### 学校の耐震化・足の確保 イベントの存続について

会派 市民ネット  
湊 貴 信議員



**質問** 急務の学校耐震化であるが、耐震診断結果がでるまでに半年もかかる。何故そんなに時間がかかるのか、また危険性が高いとの判定が出た際の対応は。

**答弁** 診断が集中しており、構造建築を主たる業務としている設計事務所では、その業務量が膨大になっていることや、判定委員会も混み合っていることなども重なり、委託に長時間を要する状況になっている。危険性が高いとの判定が出た際は、耐震性が確保されるまで安全性確保のための施設を閉鎖し、代替施設についても検討する必要があるが、学校運営に支障を来さぬよう、学校ごとの状況に応じて、非

\* 秋田県市議会議長会臨時会

時

\* 秋田県知事との行政懇談会

\* 秋田県知事と市町村議会議長との意見交換会

30日\* 議会運営委員会

\* 議会全員協議会

12月

4日\* 第4回定例会本会議

(閉会)

\* 議会運営委員会

\* 議会報編集特別委員会

8日\* 議会議員政治倫理審査会

10日\* 議会運営委員会

\* 第4回定例会本会議

(一般質問)

11日、14日、15日\* 各常任委員会

16日\* (仮称)文化複合施設整備特別委員会

17日\* 議会議員政治倫理審査会

21日\* 議会運営委員会

\* 第4回定例会本会議

(閉会)

24日\* 平成22年度予算に対する会派提言の会

25日\* 議会議員政治倫理審査会

難・誘導訓練等の充実を図ると共に、一層の安全対策を図ってまいりたい。

**質問** 高齢化が進む中、路線バスの廃止など交通弱者の足の確保に配慮する必要性を感じるが今後の取り組みについて伺いたい。

**答弁** 来年度には県補助制度が改正される予定で、今後新たに路線の廃止や運行系統の統合が予想され、現状の路線維持について強く危惧している。アンケート結果や乗降調査を基に現況と課題を明確にし、現在ある路線の利用促進を図りながら維持・充実に努める。

**質問** 各地域の伝統的なイベントや行事に対しての認識と今後の存続、方向について伺いたい。

**答弁** 地域観光イベントは市民生活に「にぎわい」を与え、地域社会に「活力」を創出するものと考え、補助金も財政状況等諸事情を勘案しながら見極めてまいりたいと考えているが、開催における地域の皆さんの熱意は十分に承

知しているところであり、その支援を継続してまいりたい。

### 国保税の引き下げはできないか

会派 日本共産党  
佐々木 隆 一 議員



**質問** 日本では全ての国民が公的医療制度に加入し、保険税等を納め、必要な医療を受けることができる国民皆保険制度を採用してきたが、高い保険税と重い窓口負担のため国保が崩壊の危機にある。滞納が増えることが予想されるので十分に相談のつてもらいたい。本市ではどのような状況か。

**答弁** 平成20年11月末現在で短期保険証802世帯、1681人。資格証明書180世帯、287人である。交付にあたっては慎重に相談に応じ、納付をお願いしている。

**質問** 国保基金6億8千万円の一部を活用し国保税一世帯1万円の引き下げはできないか。

**答弁** 医療費が増加している現状において、基金の一部を活用して、国保税を引き下げることがなかなか難しい。

**質問** 減反政策が始まって40年、農家は減反に振り回された。9月以降もアメリカ、中国などから米を輸入している。米の輸入は中止すべきと考えるが。

**答弁** 主食としての米自給を堅持し自給率の向上、農業所得の向上など国内世論を形成できるように国や県に要請していく。

**質問** 日本の農民は「ベットのボトルの水より安い米」を作っている。農産物の輸入自由化が進められてきた結果である。戸別所得補償政策について市長の考えは。

**答弁** 詳細な国の説明がないが大幅な変更であり今後わかり次第、農家に周知する。この政策が真に機能するよう関係機関に要請していく。

## 関係私企業の請負契約等の状況報告

議会議員政治倫理条例の規定に基づき、市長から関係私企業等と1件あたり10万円を超える請負契約等について平成21年12月18日付けで報告がありましたので、同条例施行規則第18条第2項の規定により下記のとおり公表します。

関係する議員	高橋 和子	高橋 和子	高橋 和子
関係私企業の経営親族等	配偶者 高橋 堅幸(理事)	配偶者 高橋 堅幸(理事)	配偶者 高橋 堅幸(理事)
請負人の氏名	秋田しんせい農業協同組合 代表理事組合長 阿部 和雄	秋田しんせい農業協同組合 代表理事組合長 阿部 和雄	秋田しんせい農業協同組合 代表理事組合長 阿部 和雄
事業名	物品等の購入	物品等の購入	物品等の購入
契約年月日又は支払い年月日	平成21年8月31日	平成21年9月30日	平成21年10月31日
請負契約等の金額	897,534円	2,732,987円	1,220,436円
請負契約等の内容	消耗品など物品等の購入(8月分)	消耗品など物品等の購入(9月分)	消耗品など物品等の購入(10月分)
請負契約等の期間	平成21年8月3日～8月31日	平成21年9月2日～9月30日	平成21年10月1日～10月31日

関係する議員	齋藤 作圓	伊藤 順男	伊藤 順男
関係私企業の経営親族等	長男 齋藤 英則(取締役専務)	父 伊藤 佐治右衛門(監査役)	父 伊藤 佐治右衛門(監査役)
請負人の氏名	株式会社秋田ニューバイオフィーム 代表取締役 鈴木 幸夫	伊藤建友株式会社 代表取締役 伊藤 佐喜男	伊藤建友株式会社 代表取締役 伊藤 佐喜男
事業名	食品購入	交流ターミナル床材張替及びサウナ室修繕	交流ターミナルレストラン床材張替修繕
契約年月日又は支払い年月日	平成21年9月6日	平成21年7月10日	平成21年7月15日
請負契約等の金額	121,800円	3,885,000円	598,500円
請負契約等の内容	西目地域敬老会用 炊き込みご飯購入	レストラン、樹林の間、渡り廊下、温泉ホール・廊下、客室の床材張替。サウナ室男女の板材張替	レストラン床材張替
請負契約等の期間	平成21年9月6日	平成21年7月10日～9月30日	平成21年7月15日～9月17日

## 政治倫理審査会の審査報告の概要を公表します

議会議員政治倫理条例の規定に基づき、議員に関係する私企業と1件あたり10万円を超える6月から8月の請負契約等について、平成21年10月13日付けで、109名の市民から関係する6議員が政治倫理条例に違反しているとし審査請求書が提出されました。

議長から付託された議会議員政治倫理審査会は平成21年10月15日から平成22年1月8日までの期間で対象となる現職4

議員の関係資料調査や請求代表者の意見聴取、関係議員の弁明、さらに当局関係職員の聴取など計5回審査会を開催しました。これら審査を通し、審査請求の適否及び政治倫理基準の違反行為の存否について慎重に審査を行い、関係各議員の条例上の疑義及び政治倫理的認識、努力義務の履行などの判断基準に立ち、政治倫理条例の抵触等、勧告の有無において次のとおりの審査結果となりました。(平成22年1月8日、審査結果報告書を議長に提出)

### 政治倫理審査会(平成21年12月8日現在)

委員長	村上 亨	副委員長	今野 英元
委員	伊藤 岩夫	委員	渡部 聖一
"	佐々木 隆一	"	佐藤 譲司
"	湊 貴信	"	高橋 信雄
"	佐藤 勇	"	佐々木 慶治

大関嘉一議員～政治倫理上の認識は認められるものの、過半数委員(委員長を除く)が条例に抵触が認められるとし、さらに過半数委員(委員長を除く)の審査判断により「注意勧告」としました。

長沼久利議員～全会一致(委員長を除く)で条例に抵触するものとし、さらに過半数委員(委員長を除く)の審査判断により「注意勧告」としました。

伊藤順男議員～条例制定時において親族(1親等)が関係私企業の役員に就任していることを認識していないなど努力義務が認められず、全会一致で(委員長を除く)で条例に抵触するものとし、さらに過半数委員(委員長を除く)の審査判断により「注意勧告」としました。

高橋和子議員～市と農協の取引への関与は不可能とされるものの、政治倫理に律する努力義務の履行が認められず、過半数委員(委員長を除く)が条例抵触が認められるとし、さらに過半数委員(委員長を除く)の審査判断により「注意勧告」としました。

### 審査結果について、平成22年1月18日付けで高橋和子議員から弁明書が議長に提出されました。

#### 弁明の内容

条例11条は、「市議の利益相反的行為の防止」及び「市議が関係する企業と競合する他企業との競争の公平の確保」を立法趣旨とするものと解します。問題にされている市と農協との取引は、前記11条の立法趣旨に反しておらず、私に対する注意処分は不当だと考えます。以下理由を述べます。

私には農協の業務に関する決定に影響を与える権限も実質的影響力もありません。私と農協の関係は、夫が農協の非常勤理事を務めているという二重に間接的な関係で、私が直接に農協の決定に影響を与えることは不可能です。農協での夫の立場も非常勤理事に過ぎず、個々の具体的な契約の締結の可否には関与しておりません。従って、利益相反の見地から見た問題はないことがご理解いただけたと思います。競合する他の企業との競争条件の公平という見地から見ても、今回の契約の場合、市内の企業の中に農協と競争関係に立つような業者はいなかったことが分かっていただけたと思います。

倫理条例が決まった時点で、私は夫に、条例が制定されたということと内容を説明しました。市議としての私にできることはその他にはないと考えたからです。今回の注意処分の対象は努力義務を果たさなかったという作為義務違反の不作为を理由とするものです。弁護士にも相談しましたが、不作为を理由に処罰する場合には、作為義務の内容(何をすべきだったか)を具体的に示さなければならないと思います。審査委員会の席上、私は「どのような努力をすれば努力義務を尽くしたことになるのか具体的に教えてほしい」とお尋ねしましたが、どなたからも明確な回答はありませんでした。

同様のことが繰り返されないよう、次の措置をとっていただくよう提案します。

- イ 審査会に法律家を含む第三者からなる諮問委員会を設け、審査会の結論を出すに当たっては同委員会の意見を尊重すること。
- ロ 現行倫理規程の見直しを行い、少なくとも本件のような取引が規制の対象外であることを明文化する条項の改定を行うこと。

# 常任委員会報告(Q&A)

上程(議事日程に組み入れ議題とし、審議の対象とすること)された議案は各常任委員会及び(仮称)文化複合施設整備特別委員会に付託されます。各委員会では、議案及び報告事項について当局より説明を受けるなど慎重に審議されています。

## 教育民生常任委員会

**Q** 生活保護費が増加しているが、その要因は何か。また実績と見込みについても伺いたい。

**A**、生活保護受給世帯や人員の増加によるもの他、医療扶助費の増加が主な要因となっています。生活保護受給者の医療費は、社会保険に加入されている方は自己負担のみですが、それ以外の方は全額が医療扶助費からの支給となっていることから、末期がん患者等の高額な治療費を要する受給者が増加しているこ

となどが医療費の増加の要因であると考えています。

また、医療扶助費の平成19年度の実績は、4億4618万8千円、平成20年度の実績は、5億4154万8千円となっており、平成21年度は6億2588万5千円を見込んでいます。

**Q** 市立保育園の民営化について伺いたい。

**A**、現在、指定管理者制度を導入している道川保育園を除く市立保育園について、平成

20年度に制度の導入を検討したところですが、経費削減等にメリットを見出せないことから、制度の導入を見送ったところがあります。

今後は、現在働いている保育士などの職員の処遇や施設としての財産管理のあり方、引き受け法人、さらには、少子化に伴う運営のあり方等を総合的に検討し、平成24年度までに、直営による運営を継続するのか、または民間移管によるのかを検討することとしております。



指定管理者制度を導入している道川保育園

## 総務常任委員会

**Q** 地震、津波、ミサイル発射など災害や非常事態の情報を国から自治体に瞬時に通報する「全国瞬時警報システム」の整備について伺いたい。

**A**、平成22年度、県と25市町村に整備されるこのシステムは消防庁が通信衛星を使い、災害や非常事態の情報を県と市町村に送信し、広報用の拡声器などを自動的に起動させる装置も含まれており、送信から数秒で住民に災害情報などが周知されます。広報手段の中には、CATVも含まれ

ており、本市でも平成22年度よりCATVにつなぐ方向であります。そこには加入率の問題が課題として残つてくると思われます。

**Q** 平成21年度でCATV施設が全市に整備されることになり、加入率は本荘地域などで低いようだが、今後の加入率向上策は。

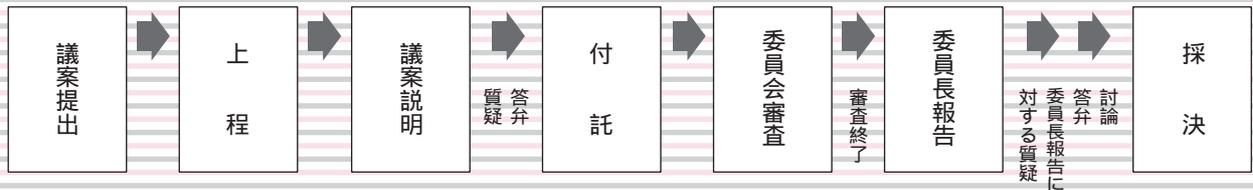
**A**、平成21年12月現在、全市の加入率は、平成21年度本荘地区加入率6・8%を加えて31・2%となっております。情

報センター特別会計が赤字とならず一般会計からの繰り入れを必要としない最少加入率は35%と考えています。今後加入金3万円の廃止の検討や年度内には、テレビ配信会社からの加入促進キャンペーン、地上デジタルサポート、インターネットへの加入促進のPRなどを実施致します。また、新年度に向けては、TBS系列放送など新たなサービスの実施により、加入促進を図つてまいります。



4月からTBS系列の再送信を開始するCATV

～ 委員会付託の流れ～



建設常任委員会

産業経済常任委員会

**Q**、県道「羽後本荘停車場線（通称本町通り）」の未改良部分について、早期着手の見通しについて伺う。

**A**、本路線の都市計画決定幅員は27mとなっておりますが、この計画幅員での整備については、将来の交通量予測等からは不要との判断では地元及び県、市とも共通の認識をしているところです。この整備にあたっては、今後、適正な幅員の検討を行うとともに都市計画変更が必要となります。併せて事業手法（街路整備事

**Q**、鳥海高原、矢島スキー場魅力アップサポーター事業について伺いたい。

**A**、今シーズンよりゲレンデの楽しさを体験できる多様なアイテムを整備するため、市場調査やシーズン中に定期的に愛好者（スキー・スノーボード・フアンスキー・スノーリゾート等）から聞き取り調査を実施し、調査結果に基づきスキーアイテムやスノーパーク・クロスコース等のメンテナンスを行う専門サポーターを雇用する事業であり平成

**Q**、住宅・公共建築物の由利本荘市耐震改修促進計画について伺う。

**A**、国において、平成18年から10年後（平成27年）に死者

22年度・23年度も継続の予定であります。

**Q**、鳥海地域の猿倉温泉3号井開発業務の成果と、今後の供給施設の整備について伺いたい。

**A**、猿倉温泉3号井開発業務については、昨年9月よりホテル「フォレスト鳥海」駐車場脇の市有地で温泉井の掘削作業に着手、揚湯試験を経て平成21年12月3日にその結果発表を行っております。地

数及び経済被害額を被害想定から半減させるという観念から、住宅及び一定規模以上の建築物の耐震化を現状の75%から90%にすることが目標とされました。これの達成のために耐震改修促進法の改正が平成18年1月より施行されておりあります。「県促進計画」を勘案して、市の総合発展計画や地域防災計画との整合性を図り、計画期間を平成27年度までの6年間とします。

表から1100mを掘削、温泉温度52度、湧出量は毎分160リットルとなっております。

今後、猿倉温泉3号井にかかる動力装置等の設置許可・温泉採取許可・可燃性天然ガス濃度確認等の申請を行い泉質等の分析結果を踏まえ、新年度において供給関連施設の整備を図り、温泉の有効活用を図ってまいります。



拡幅が検討されている羽後本荘停車場線



新たに開発された猿倉温泉3号井

# 一般会計補正予算

## 1億4,631万6千円を増額

4月1日からごみの有料化制度に**資源ごみ用収集袋**を追加

平成21年12月定例会は12月4日から12月21日までの日程で開催されました。今定例会への提出議案は、人事案件2件、条例関係11件、各会計補正予算関係15件、その他20件の計48件のほか、議員発案1件、委員会発案8件が上程され、審議の結果、原案どおり可決しました。また、請願2件と、陳情9件のうち6件を採択、1件を趣旨採択、1件を不採択としたほか、1件を継続審査しました。

### 補正予算の主なもの

- 総務費
  - 全国瞬時警報システム設備整備事業 848万4千円
  - インターネット接続速度向上対策工事 360万円
  - ふるさとさくら基金積立金 240万7千円
  - 民生費
    - 重度障害者(児)移送費給付事業 126万4千円
    - 福祉医療支給事業費 278万9千7百円
    - 障害者自立支援日常生活用具給付事業 250万円
    - 保育所入所措置委託料 116万3千6百円
    - 子育て支援金事業費 180万円

### 生活保護費

1億815万6千1百円

### 衛生費

感染症等予防対策費(季節性高齢者インフルエンザ) 190万円

### 鳥海診療所運営費

305万2千4百円

### 直根診療所運営費

545万7千円

### 農林水産業費

J A秋田しんせい地区活性化計画事業 256万6千7百円

### 夢プラン(応援事業(畜産振興))

215万9千円

### 矢島畜産センター設備修繕事業

827万2千円

### 豪雨災害関連治山事業(岩城地域)

521万円

### 農地等単独災害復旧補助金(岩城地域)

215万1千円

### 商工費

109万2千円

### 岩城地域観光客誘致強化事業

71万円

鳥海高原矢島スキー場魅力アップサポーター事業 136万5千円

猿倉温泉3号井動力装置等設計業務委託料 417万9千円

土木費 189万4千円

道路新設改良事業(松ヶ崎亀田線、鳥海線等) 374万9千円

消防費 300万円

消防団活動費 300万円

消防施設等整備事業(鳥海地域) 100万円

教育費 201万7千円

西目中学校駐輪場整備事業 500万円

日新館冷却配管取替修繕

学校施設耐震工事に係る実施設計委託料(新山・鶴舞・子吉・矢島小、本荘北・東由利・西目中) 189万4千円

災害復旧費 968万2千円

林道災害復旧事業 156万3千8百円

新鶴瀉公園パークゴルフ場災害復旧事業

### 人事案件

人権擁護委員の推薦

菊地 洋氏

鈴木 久男氏 (中田代)

鈴木 久男氏 (東中沢)



11月の豪雨で被災した岩城地域内道川地区

### 条例関係

(主なもの)

廃棄物の処理及び再利用並びに清掃に関する条例の一部改正

ごみの有料化制度に資源ごみ用の指定収集袋(1袋につき(大)20円(中)13円(ミニ)10円)を追加し、4月1日より施行するもの。

市簡易水道等設置条例並びに給水条例の一部改正

本荘地域松ヶ崎地区統合簡易水道事業の完了に伴い、簡易水道の設置並びに給水区域等の変更及び水道料金設置等に関する規定を整備するもの。  
市役所総合支所設置条例等の一部改正

市役所鳥海総合支所笹子出張所を新築の笹子公民館に移転することに伴い関係条例を改めるもの。

### その他議案

(主なもの)

ケーブルテレビ施設伝送路並びに放送・通信設備工事請負変更契約の締結



新たに指定管理者を指定した矢島畜産センター

今年度の事業区域である本荘地区並びに子吉・南内越地区の一部における加入者確定により、伝送路工事を1億2976万4千250円減額して6億7621万5千750円に、また、放送・通信設備工事を1億2041万6100円減額して14億1048万3900円に変更するもの。  
公の施設の指定管理者の指定新たに矢島畜産センターについて鳥海高原花立牧場を指定管理者とするとともに、今年度末で指定期間の終了する福祉介護施設や観光施設、産業振興施設など54施設について、指定管理者を更新するもの。指定期間は平成22年4月1日から26年3月31日まで。

### 陳情・請願

今定例会には、請願2件陳情9件が上程され、審査されましたが、結果は次のとおりです。

#### 採択

米価の回復と価格の安定  
ミニマム・アクセス米の輸入中止を求める意見書提出  
についての請願

(農民運動秋田県連合会)

委員長 佐藤長右衛門

(紹介議員 佐々木隆一)

EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する意見書の提出についての請願

(農民運動秋田県連合会)

委員長 佐藤長右衛門

(紹介議員 佐々木隆一)

雇用と生活をまもる施策強化を求める意見書提出についての陳情

(秋田県労働組合総連合)

議長 佐々木 章

外1名

社会保障と教育予算の拡充を求める意見書提出についての陳情

(秋田県労働組合総連合)

議長 佐々木 章

外1名

くらしを支える行政サービス・人員の拡充を求める意見書提出についての陳情

(秋田県労働組合総連合)

議長 佐々木 章

外1名

改正賃金業法の早期完全施行等を求める意見書提出についての陳情

(秋田県司法書士会)

会長 鈴木 敏夫

外2名

2010年度の年金確保に関する意見書提出についての陳情

(全日本年金者組合)

秋田県本部本荘由利支部

支部長 菊地徳右衛門

保険で良い歯科治療の実現を求める意見書提出についての陳情

(秋田県保険医協会)

会長 三浦 利治

外1名

趣旨採択  
最低保障年金制度創設な

どを求める意見書提出についての陳情

(全日本年金者組合)

秋田県本部本荘由利支部

支部長 菊地徳右衛門

#### 不採択

由利本荘市職員の福利厚生に関する陳情

(由利本荘市職員労働組合)

執行委員長 柳田 保

外538名

#### 継続審査

後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書提出についての陳情

(全日本年金者組合)

秋田県本部本荘由利支部

支部長 菊地徳右衛門

### 意見書

今定例会で次の議員発案による意見書案が可決され、採択された請願・陳情の意見書とともに関係機関に送付しました。

#### 議員発案

電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書

市民の声

『明るい未来への架け橋』



西目地域

佐々木 千 宴

由利本荘市民になり約3年。一歳になる子供の子育て真最中。どこにどんな場所があるのか、地域が子育てに関してどんな協力をしているのかなど分からないことばかりからのスタートとなりました。

幸い近所にある保健センターや西目保育園では開放日があり、親子で利用しています。センターの方や保育所の先生方にはいつもやさしく声をかけていただき感謝しています。子育てで不安なことや心配なことも相談でき頼りにしている存在です。

子供が楽しく遊ぶ姿見ると幸せな気持ちになります。しかし今、子供達の外遊びの場所や環境に目を向けると不安になります。大人の目がなくては安心して遊ぶことができないのが残念です。私が幼少の頃は、公園や空き地で時間を忘れて友達同士で遊んだものでした。

心と体を思いきり触れ合って遊ぶことができ、大人も子供も安心できる戸外環境の確保を切に望みます。そうすることで、大人になっても地域を大切にし、声をかけ合い明るい人間関係を築くことのできる架け橋になる、そんな気がするので。

明日への生きる力、希望が生まれる風景でいっぱいになる未来を心から願っています。

(仮称)文化複合施設整備特別委員会 委員会報告

旧由利組合総合病院跡地整備特別委員会の審査案件を引き継ぐ(仮称)文化複合施設整備特別委員会が平成21年11月13日の臨時会で設置され、12月定例会では、担当課から提出議案をはじめ旧由利組合総合病院跡地整備に係わるこれまでの経緯、文化複合施設建設事業の進捗状況(11月末現在の進捗率は15%)及び管理運営計画策定スケジュールなどの説明を受けました。



現場事務所で文化複合施設の模型を視察しながら説明を受ける委員

議会を傍聴してみませんか?



市議会の定例会と臨時会の本会議は一般に公開されており、どなたでも自由に傍聴いただけます。

なお、開催日程は、市のHPまたはケーブルテレビでご確認ください。



編集後記

新しく負託を受けた市議会での12月定例議会も5名の一般質問、そして

市議会もその変化に対応すべく尚一層の政治研鑽と政策能力の向上を図ることが求められています。

新しく編成された各委員会で、議案審査も新鮮な中でも緊張感を持って行われ、由利本荘市として市議会3期目の実質的な

「議会だより」も新メンバーでの編集作業となりましたが、市民の目線で行きやすく、その内容をまとめて情報提供してまいります。今後とも、市政に対する

今後の政治動向は、政権交代という変化、地方分権への政策の流れもあり、地方の政治がより一層大切になってまいります。

率直なご意見や要望などをお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

